

HSK N P O 法人 「文福」 ニュース ❀❀❀❀



❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀ NO.279

冒頭の一言

夏の暑～い盛りの時期は過ぎたとはいえ、まだまだ寝苦しい夜に皆さん悩んでおられるのではないのでしょうか。

そして日本各地でおきた災害級の大雨、台風などで被害にあわれた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

これから段々と過ごしやすい日が多くなってくると思います。この時期、小さな秋を見つけに外へ行くのも良いですし、家の中でまったり過ごされるのも良いですね。そのまったりした時間にこの「障ちゃんニュース」も仲間に入れてやって下さいませ。

Kaokao

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	総会報告 … 2	ザ★カイジヨ報告 … 3
スタッフ紹介 … 4	アルバイト紹介 … 5-7	
旧優生保護法強制不妊報告書が出されて思う事 河上千鶴子 … 8-9		
「あすなろ」報告 日下正秀 … 10-11	penko … 12-13	
バーベキューのお知らせ … 14	今後の予定 … 15	
ありがとうコーナー … 16		

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
工
大
事
用
紙
一
三
三
号
一
五
八
一
〇
一
三
一
五
八
二
三
二
五
二
八
日
発
行

第 21 回 NPO 法人文福総会報告

去る 6 月 10 日土曜日サンフォルテにて文福 21 回総会が開催しました。

コロナも 5 類になったので、感染対策をしっかりとしたうえで今年は 4 年ぶりに通年通り 2 部構成の総会を行いました。

午前の部は議長選出をし、そして各部門から前年度の活動報告や、今年度の活動計画、活動決算報告と予算案など順をおって、・障害者部会 ・介護派遣事業部 ・福祉と人件の学習会 ・レクリエーション部『夢宙人』
・情報提供『障ちゃんニュース』『まっち』 ・事務局より前年度の会計報告と今年度の会計予算案などがありました。

15 分の休憩をはさみ質疑応答があり、出席者からは活発な意見が交わされました。

採決は出席者 24 名（内委任状 5 名）、欠席者 1 名、過半数 16 名のところ、過半数以上の賛成を得て無事に 21 回総会を終えることが出来ました。

午後の部は「今も続く差別に立ち向かおう!!」というテーマで、富山福祉短期大学の国際観光学科の教授を務められている鷹西恒氏の講演を聴きました。

色んな差別の事例を聴き、「差別解消法」ができたとはいえ、まだまだ私たちが声を上げていって、建物のバリアフリーだけではなく、心のバリアフリーも広げていこうと改めて思わせて頂ける講演でした。

文責・中村



ザ☆カイジョ報告

今年度第 1 回目の県指定 重度訪問介護従業者養成研修「ザ☆カイジョ」基礎課程を 7 月 1 日（土）2 日（日）、追加課程を 7 月 1 5 日（土）にサンフォルテにて行いました。

今回も募集人数を 6 名にし、他ヘルパー事業所やデイサービスと新しく入った文福スタッフ・アルバイトを含め、男性 1 名と女性 5 名受講されました。

今回、障害者の介助が初めての方がほとんどでした。

基礎課程では、重度訪問介護の成り立ちや、文福のことについての講義で八木さんができなくなり、急遽理事長がお話しされました。

2 日目の外出実習は天候に恵まれて、3 つのグループに分かれ様々な公共交通機関を利用して、障害者スタッフとショッピングや車いすを押している時の道路の状況などを確認していましたが、バスの乗り降りに苦労されたという話を聞きました。

追加課程では、コミュニケーションの講義にて、しゃべれない方へのコミュニケーションで講師の大野さんから受講者の方全員に質問をするというスタイルで行いました。好きなマンガやゲーム、着ている洋服のことなどを質問されて、実際にタブレットでゲームをする様子を見てもらい盛り上がっていました。

3 日間を通して、受講された方々同士で話し合っている姿が印象に残りました。

現在は、追加課程で障害者スタッフ宅での訪問実習を行っています。

受講された皆様、各事業所様、スタッフの皆様、ご協力頂きありがとうございました。

受講された方々からの感想を次号掲載する予定です。

報告者：森田

よろしく申し上げます。

文福スタッフ 西野 陽子

5月15日より、入社いたしました、西野陽子と申します。

私をよく知る人は、私が入社を介助する仕事をしていると言ったら、まず驚くと思います。まあ、私は世間的な介助のイメージ「人の役に立ちたい」だとか、「困ってる人に何かしたい」とか、高尚な思考は持ち合わせていないからです。

はっきり言って、むしろ綺麗事・御託を並べられても、反発したくなる捻くれ、捻らせ野郎です。

では、どうしてこの世界に踏み入れたのか、というと、完全に興味本位です。とにかく、自分の知らない世界があるのが嫌でした。ただ、それだけです。

それにしても、この仕事に携わって思うことは、ホンマに人間て言うのは、面白い生き物だと。みんな違ってみんないい、とはこの事だと。一て、言う位個性があって、いい意味で人間臭くて。

私は、色々な方に「面白い」と言われてきました（多分、そこしか褒められるポイントがない）、自分なんて、まだまだでした。世界は広い。負けました。

人嫌いを公言していましたが、何の因果が一番人間に身近である仕事を選んでしまった・・・それが良かったのか？悪かったのかは？年月を経たら答えが出ているかも知れません。



こんにちは

文福アルバイト 高林 明美

こんにちは。3月より勤務させて頂いている“高林明美、です。

仕事を探していたところ、知り合いに紹介され文福のアルバイトスタッフとして働くことになりました。

今まで経験したことのない仕事で初めは不安でいっぱいでした。そんな私を受け入れて下さり感謝しています。まだまだ、仕事に慣れることが出来ず利用者様が不満に感じられていることと思いますが、時間をかけて少しでも満足して頂ける介助ができるよう努めていきたいと思っています。気長にお付き合い頂けると幸いです。

私の趣味は好きな YouTuber の動画を観ることや子供の好きなお菓子を作ることです。簡単な物しか作れませんが、美味しいと言ってもらえるととても嬉しくまた作ってあげたいと思えます。



自己紹介

文福アルバイト 福島 美喜

はじめまして、福島美喜(ふくしま みよし)と申します。介護の仕事の他、看板屋、工務店で働いていました。嫁いでは、主人がやっている鉄工所や田んぼ、畑でも汗をながしています。

高齢者に関わる仕事を 15 年程してきて、(ほとんどが居宅、ショートとディ少し)グループの運営の事業所だったため、コロナで訪問が減った時は特養の応援に行くことがありました。時折、盲の方やろうの方に接することがありました。目が見えないと一人暮らしは難しいという理由でまだ認知症でもない方が特養にはいられていて。あるかたは、幸せ。と言っておられ、穏やかに過ごされていたが、あるかたは、まだまだ自立されている部分が多く、周りの人は話しかけても会話にならず、目が見えなくなったショックもまだ大きく、とうていその暮らしで満足できているという状況ではありませんでした。利用出来るサービスを理解することもなく、なんとなく特養に入れられているのは、支援員の力不足(動く気がない)のように私にはおもえました。

ご近所のろうの方とおつきあいがあって、ボランティアでろう者と接することがありました。山菜取りや、ハイキングは聞こえる人がペアになって行動すると、安心するらしいのです。

学生のころや、子供が小さいころ、プールでアルバイトをしていました。知的なお子さんを担当することがあり。なによりプールが好きで、言葉で伝えるのが難しい分、体の動かし方をさわって練習するようにしていました。

私がふれてきた障害の方は以上のような感じだったと思います。重度の方はいません。身近なところでは旦那の母が両足先の障害があるため外出には車いすを使っています。また、同行援護の仕事をしたと思ったのは、訪問先の高齢女性の方が緑内障で視力が落ち生活の不自由を訴えられ、聞くことしかできなかつたときに、ぴーなつつの事業所を知って同行援護のサービス

内容を聞いてこの方にぴったりのサービスがあった。と思いました。そのかたとは、今でもお付き合いが続いています。

ぴーなっつで障害の方と関わる中、その時かけもちしていた高齢者のショート施設の施設でコロナクラスターがあり、しばらくして、社長から「かけもちストップして！」と言われました。私は、ぴーなっつの仕事をストップする気は無いことを伝えて高齢者からは離れることを決めました。とりあえず、ぴーなっつに相談したところ、文福を紹介いただきました。正直、辞めるつもりがなかったところの話だったので、文福にはとても不純な動機にもかかわらず、受け入れていただいたことに感謝しています。

介助にはいって感じたことは、福田氏大野氏共に自己決定、自己責任をやっていさされていて、それは想像以上で、自分の暮らし全てを自分で決めている。という強い意志を感じました。そして、関わっている人たちがみな良い人達だと思いました。福田氏大野氏の人となりもあるでしょう。周りに集まる人もふくめて、一人暮らしを極めた究極の居宅好きなのかな、と思います。

はまっていることを書くようにとのことだが・・・

大人になってからは、はまっていないですね・・・

福田氏が浮気することなくアルフィーのファンを続けているというのは、尊敬します。

アルフィーがメリーアンを歌っていたころは、私は、JAC にはいりたかったと思います。千葉真一(コロナで亡くなってしまいましたね)がやっていた、アクション俳優の団体です。最近、息子がテレビに出たり、たまに、志穂美悦子(旦那さんは長渕剛)がちょろっとテレビに出ていたりすると、ちょっと気になったりはしますが・・・

20代のころは和太鼓にはまっていました。自分で考えた曲で競演会に出たりもしていました。最近またやりたくて、子供たちの練習に顔を出したりしています。

真剣に遊ぶ大人って良いですね!(^^)

旧優生保護法強制不妊報告書が 出されて思う事

河上千鶴子（アパッチ）

去る、6月19日に、旧優生保護法による被害実態調査を、まとめた報告書が、国会に提出されました。この報告によると、全国では、2万4993人で本人の同意なしが65パーセントです。人工妊娠中絶が約5万9000人で、合計8万4000人いるという事です。被害者は最年少が9歳で実施、不妊手術を福祉施設の入所条件に、他の病気と偽って手術を実施していたことが明らかになりました。

富山では、302件という事です。5年前に、私達が県庁に行き、聞いた時は、「昔の事なので、資料が残っていない」という回答だったのです。それなのにどうして調べたのか、私達に嘘をついていたとしか思えませんね。そのことを思うと腹が立ってきます。

富山でも、もっと実際はあると思うし、昨年暮れに発覚した、北海道江差町「あすなろ福祉会」知的障害者のグループホームで、20年以上前から「同棲や結婚は認めるが、子供を持つことは認められないとして、不妊処置をするようにしていた。子供が出来たら、ケアから外れてもらう」みたいな施設が、探せばまだあると思います。いくら、法律が無くなっても、人々が私達、障害者を見る意識が変わらない限り、それこそ、「結婚までは良いが子供を産むのは、ダメだ」という考え方になると思うのです。どれだけの障害者が子供を産む権利を奪われて来たことかを本当に真剣に考えてほしいで

す。

そして、今回の事で、チューリップTVから取材があり、6月21日に放送されました。

この放送後、ヘルパーさん達と話した時に、問題は違うけど、自分が子宮筋腫で病院に行った時に医者が、「もう子宮はいらないだろうから取ってしまえばいい」と言われた。まだ、子供をもう一人欲しいと思っていたのにと話をしてくれました。

子宮は、単なる子供を宿す道具ではないはずです。身体には、いらぬ物はないと聞いています。産婦人科のお医者さんの意識、そこに流れる優生思想も変えていかないとダメだと改めて感じました。

また、他の人との話では、子供は親や家族で育てていくものだという固定観念もまだまだ強いなあと今回の事で感じた、私です。



勝手な判断で子供を
育てられないと思わ
ないでください！

「あすなろ」報告

日下 正秀

今年の第 21 回文福総会の記念講演会が、「今も続く差別に立ち向かおう！！。」というテーマで執り行われました。その総会に合わせた訳ではないと思いますが、北海道のあすなろ福祉会による施設利用者への不妊手術が発覚した問題で「あすなろ福祉会」には抗議文を、厚労省に対しては、障害者施設へのその差別的なやり方を放置してきた責任と、他の障害者施設についてどのような施設運営がされてきたか把握することと今後再び繰り返される事のない様にとの要請文を送りました。しかし抗議文を送った翌月に東京都府中市の社会福祉法人で、市職員 OB の元副理事長による知的障害の利用者に対する暴力が繰り返し

続いていたことが新聞報道で明らかになりました。「あすなろ福祉会」、東京都府中市の「清陽会」などでの「差別事件」から「差別事例」この2つを取り上げましたが、ここで皆さんに謝らなければならぬことがあります。総会当日私がなんと進行役である議長をおおせつかり、



かなり体と精神にプレッシャーをかけた結果だとは思いますが、もう一つの原因は、会場がサンフォルテだったのですが、会場の妖気にあてられたか、突如の体調不良に見舞われて、午後からの鷹西さんの講演を聞くことができませんでした。参加したような嘘を書くはめになりました。嘘つきの紹介文ですが、悲しいことに中身の新聞記事は本物です。

支援制度不備改善を

知的障害者の子育て グループホーム想定せず

北海道江差町の社会福祉法人「あすなろ福祉会」のグループホーム（GH）に關し、育児を想定しない国の制度の不備があるとして、福祉現場から「早急な改善を」と声がかかる。生まれた子どものGHでの生活は現行法上、位置付けがあいまいなクレーンとされ、国の対応が注目される。

厚生労働省によると、障害者総合支援法はGHの入居者について「原則18歳以上の障害者」と規定する。地域で支援を受けながら自立生活を送ってもらうことが大きな目的で、成人が個室で生活することを想定。一方、GHでの子育てを想

定した規定は存在しない。障害者向けに特化した育児支援制度もなく、保健師による家庭訪問など一般的な福祉サービスを活用して対応するというのが国の立場だが、当事者のニーズに応え切れていないのが実情だ。

神奈川県茅ヶ崎市のNPO法人「UCHI（うち）」のGHで、4歳と0歳の子ども2人を育てる男性（36）は、自身と妻に軽度の知的障害があり、「身近にいる職員から子育ての仕方や困ったときにどうに聞けばいいかを教えてもらわないと、分からない」と話す。

現状
入居は「原則18歳以上の障害者」で、生まれた子は「法的な位置付けがあいまいなクレーン」
グループホーム（GH）での障害者の子育てを巡る現状

入居する障害者
GHで職員などから子育ての仕方を教えてもらわないと分からない
育児を想定しない国の制度の不備、改善求める声

神奈川県茅ヶ崎市のNPO法人「UCHI（うち）」のGHで、4歳と0歳の子ども2人を育てる男性（36）は、自身と妻に軽度の知的障害があり、「身近にいる職員から子育ての仕方や困ったときにどうに聞けばいいかを教えてもらわないと、分からない」と話す。

①グループホーム 障害者総合支援法に基づき、知的障害者や精神障害者らが少人数で共同生活を送る制度。単身が不安だったり、一定の介護が必要だったりするため、支援を受けながら地域生活を希望する人が利用する。運営側は利用者のニーズに応じて、食事や入浴など生活上の援助を行う。原則、入居定員は2人以上10人以下で個室。一戸建てや賃貸マンションなどさまざまな形態がある。2022年1月現在、約1万1000カ所、約15万5000人が利用している。

ズーム②

②知的障害者の不妊処置問題 北海道江差町の社会福祉法人「あすなろ福祉会」（樋口英俊理事長）が運営するグループホーム（GH）で、結婚や同棲を希望するカップルに、男性はパイプカット手術、女性は避妊リング装着を求めている。1998年ごろからで、対象は男女8組16人。2022年12月に発覚し、北海道が障害者総合支援法に基づき調査を進めている。道は所管するGHを対象に実態を調査している。

養育支援のため障害福祉サービスや子育て関連施策を最大限活用するよう要請。ただGHの入居要件から外れる子どもの位置付けは明確にされず、GHによる育児支援のコスト負担についても整理されていない。日本グループホーム学会の荒井隆一代表は「GHは『暮らしの場』で、日常生活だけでなく人生そのものを支援する。結婚や出産、子育ても当然含まれ、その人がどう暮らすかは保障されなければならない。現制度で対応できていないなら、早急な改善が望まれる」と語った。

報酬加算が必要

グループホームの実情に詳しい明星大の平井威実教授（特別支援教育学）の話。日本では子育ては親が担う意識が強いが、社会が共同で子育てする考えも必要だ。育児には日常的な支援が必要で、生活の場でもあるグループホーム（GH）で職員がサポートするのが適している。「不良な子孫の出生防止」を目的に掲げた旧優生保護法の影響で、日本は知的障害者の入居について意識が低いのが、社会参加が進む中で子育てについて法的な整理が必要だ。具体的にはGHへの報酬の加算のほか、居室の広さなどに配慮した子育て支援型のGH制度をつくらせることが考えられる。



Penko のおひとりさま
珍道中!! (Part63)

これを入力しているのが7月の下旬。数日前から全国的に35度前後の暑さが続いています。いかがお過ごしでしょうか。電気代も上がるということも気にしながらエアコン生活。たまに外にも出るようにしています。

先日のザ★カイジヨにて、理事長から進行係を仰せつかり!?開催された日は1日ぶっ通しでやり遂げて、次の日の朝、体が思うように動かず吐き気に襲われました。ちょうどヘルパーさんが来られて、かろうじてバナナ1本食べられましたが、それから夏風邪をひいてしまい、食欲が出ない日が一週間続きました。熱はなく、気力で水分をたくさん摂り、ようやくまともに食事がおいしく感じるようになりました。まだまだ気温が高い日が続きそうなので、体調を整えて過ごさねば。

今年は町内のイベントや花火も復活するし、お正月以来お盆に実家へ帰ろうと思っています。実家では数か月前に犬を飼い始めたそうで動画も送っていただきましたが、実際に会えていません。散歩が苦手らしい。早く会えるのを楽しみにしています。

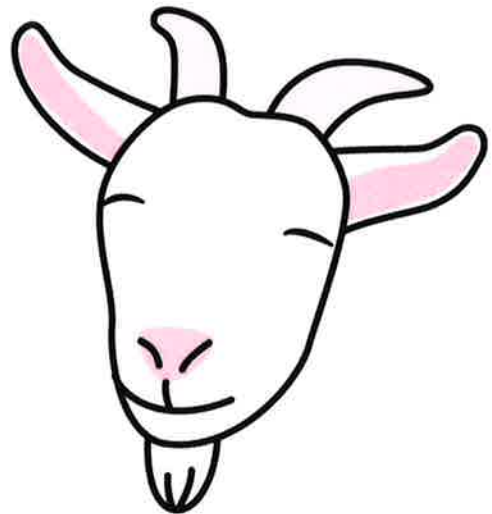


以前にも書きましたが、テレビ番組の「ヤギと大悟」にはまっていて、全国的にも放映されるようになり、富山でも4月から約1か月遅れですが、毎週日曜日のお昼に放映されるようになりました。

ヤギのポポちゃんは、オスですが、大悟さんとのやり取りでとてもよいキャラを出しています。

最近では「モロコシくん」という新しいヤギが出てきて、そのかわいさにポポちゃんがすねてしまうという場面もあり、他の動物を怖がったり、こわもてのお父さんがポポちゃんを怖がったけれど、最後にはなでることができたり、とある牧場で3頭のヤギと出会い、「メエメエ」と共鳴したり、(この場面が最高に面白く、何度も見てしまう。)雑誌の「an・an」の表紙にもなりました。

最新の話はTVerで、落ち込んだとき、気が重いときによく見えています。



夢宙人企画★

食欲の秋？運動の秋？みんなで楽しむ秋！

ミラージュランド で遊んで

BBQ して **秋** を満喫しよう！

9：30 富山市障害者福祉プラザ・集合
10：00 富山市福祉バスにて出発！
10：30 ミラージュランド到着
バーベキュースタート
食べ終わって遊びたい人はミラージュランドで
乗り物などで遊びましょ。
15：00 バーベキュー棟集合
片付け・集合写真撮影
福祉バス乗車
16：00 ミラージュランド出発！
16：30 富山市福祉プラザ到着・解散

2023 年 10 月 7 日 (土) 富山市障害者福祉プラザ集合・解散 (現地集合も OK！)
申込締切：9 月 20 日 参加者が多い場合は、抽選となります。

参加費：3000 円 (交通費・BBQ 代・飲み物代)

ペア参加費：4000 円 (ご家族・支援者などとペアで参加される方)

※支援が必要な方は、必ず移動支援等をご利用ください。
※雨天時は、びーなっつにて室内 BBQ に変更になります。参加費等は変わりません。

企画・お問い合わせ・予約は…

夢宙人！(むちゅうじん)まで！

muchu.iin.55@gmail.com



◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎連続学習会

日 時：11月18日（土）午後1時半から4時

場 所：サンフォルテ 307号室

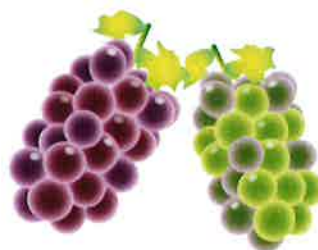
内 容：お話と「ひとり芝居」

河除 静香さん

参加費：無料（カンパ大歓迎）

お問い合わせ先：NPO法人文福 TEL 076-460-0390

担当 河上さん（火・木 12:00から15:00）



ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



もう9月になろうとしています。7月には、九州の方や四国では、線状降水帯が発生して大雨特別警報が、石川、富山でも初めて出されました。また、東北も大雨で被害も出ました。まだまだ暑い日が続きますが、皆さん夏バテは、大丈夫ですか？

出来るだけ、美味しい物を食べて、栄養を取って、暑い夏を乗り切りましょうね。(アパッチ)

* 2023 年度新規会員・継続会員 *

瀬戸紀美子さま 粟島実さま 入江真理さま 京谷昌厚さま 中川希世さま
高林明美さま 新田知子さま 永井広克さま 椎恵子さま 川原登喜のさま
加藤政和さま 柳川ひとみさま 大西貞夫さま 珍部千鳥さま 松浦義和さま
ま 本林可南さま 福岡泰子さま 澤則雄さま 横山久恵さま 吉川行唯さま
ま 塚本聡さま 河原井純子さま 保坂和哉さま 田辺曜子さま 菅野アイ
コさま 掛田博子さま 今度純子さま 小川毅さま 鈴木栄さま 福島美喜
さま 藤塚清美さま 青木美保子さま 小倉利丸さま 藤江民さま かもめ
のノートさま 井上健太郎さま 佐々木墨子さま 中島正浩さま 東初美さ
ま 安本栄二さま 豊田友子さま 谷口良夫さま 藤喜美子さま

カンパ 田辺曜子さま 藤塚清美さま 中島正浩さま 豊田友子さま

いただきもの 中田玲子さま 株式会社栄工社さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく} 文福

〒930-0138 富山市呉羽町7276番地3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。